

# 平成29年【第2回】 「いわて復興ウォッチャー調査」結果報告

## 1 目的

東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある方々の協力を得て、復興感に関する調査を実施する。

## 2 調査の概要

### (1) 調査対象

岩手県の沿岸12市町村に居住又は就労している方 153名

※原則として、毎回同じ方を対象に調査を実施

### (2) 調査方法

郵送法(郵送による発送、返信用封筒による返送)

### (3) 調査対象時期

平成29年7月(次回調査は平成30年1月予定)

### (4) 調査項目

問1 被災者の生活の回復に対する実感 (生活の回復度、直近6ヶ月間の進捗状況)

問2 地域経済の回復に対する実感 (地域経済の回復度、直近6ヶ月間の進捗状況)

問3 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

(災害に強い安全なまちづくりの達成度、直近6ヶ月間の進捗状況)

### (5) 回収結果

有効回収率 79.1%(121名/153名) <前回 82.4%(平成29年1月調査)>

### (6) 回答者の属性

#### ①性別

性別	人数	割合
男性	82	67.8%
女性	39	32.2%
不明	0	0.0%

#### ②地域別

地域	人数	割合
沿岸北部	42	34.7%
沿岸南部	79	65.3%
不明	0	0.0%

#### ③年齢別

年齢別	人数	割合
39歳以下	13	10.7%
40歳代	31	25.6%
50歳代	44	36.4%
60歳以上	33	27.3%
不明	0	0.0%

#### ④住宅被害の有無

被災有無別	人数	割合
被災あり	69	57.0%
被災なし	48	39.7%
不明	4	3.3%

### ⑤ 職業・所属等

- ・ 地域団体・郵便局関連(応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など) 46名(38.0%)
- ・ 教育・福祉施設関連(小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など) 35名(28.9%)
- ・ 産業・経済・雇用関連(漁業・農業従事者/就業支援員等雇用支援機関の関係者/金融機関の関係者など) 40名(33.1%)

#### ■参考■

- 「回復度」「達成度」とは、発災以降における全体の回復状況についてお尋ねしています。「進捗状況」とは、直近6ヶ月の進み具合についてお尋ねしています。
- 沿岸北部とは、洋野町・久慈市・野田村・普代村・田野畑村・岩泉町の6市町村、沿岸南部とは、宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市の6市町です。

- ※ 調査結果の集計・分析にあたっては、岩手県立大学総合政策学部の協力を得て行っています。
- ※ 掲載する割合(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

### 3 調査結果の概要(1) 被災者の生活の回復に対する実感

○被災者の生活の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が83.5%と前回(78.6%)を4.9ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は3.4%と前回(2.4%)を1.0ポイント上回った。

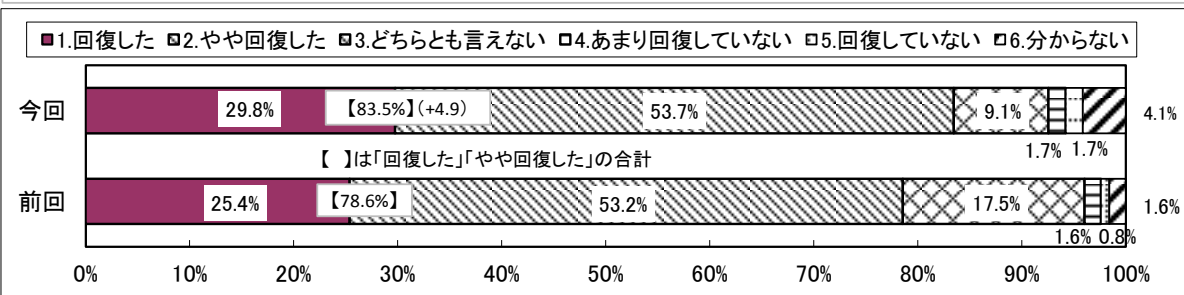
○地域別では、「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で88.1%と前回(85.0%)から3.1ポイント上回り、沿岸南部では81.0%と前回(75.6%)を5.4ポイント上回った。また、沿岸北部と沿岸南部の差は7.1%と、前回の9.4%を2.3ポイント下回った。

○直近6ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が76.0%と前回(75.8%)を0.2ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は5.0%と前回(3.2%)を1.8ポイント上回った。

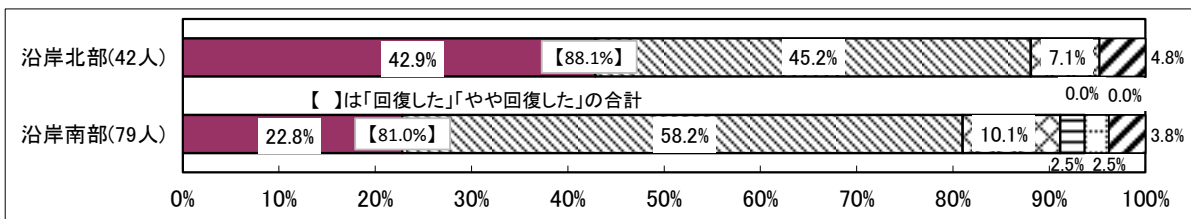
復興道路の完成や災害公営住宅等の入居により、生活環境が改善され、目に見えて完成イメージをつかめるようになったと評価する声がある一方、今後の地域コミュニティの活動が課題との声もあった。

#### ① 被災者の生活の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

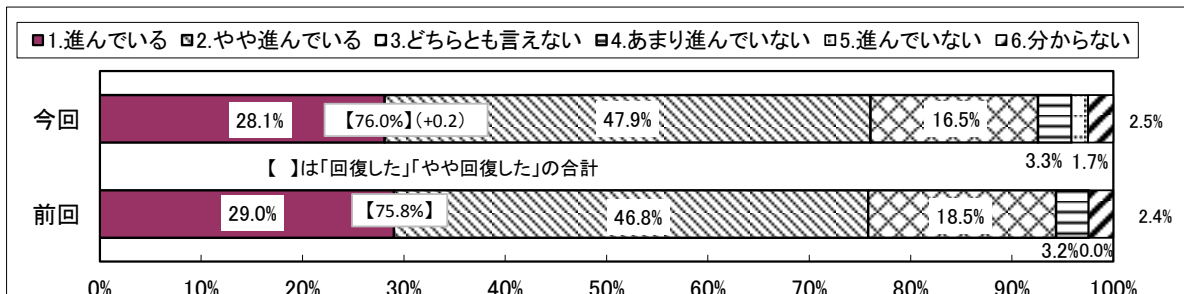


#### 地域別

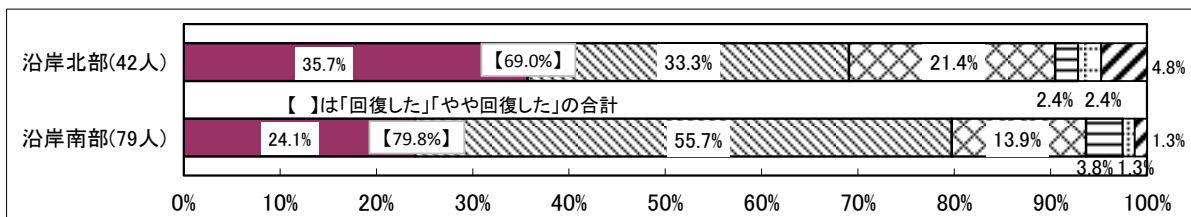


#### ② 直近6ヶ月間(概ね1月から7月まで)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(6ヶ月間程度)被災者の生活の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
<p>「1.回復した」 又は 「1.進んでいる」 の理由</p>	<p>◆被災はしたけど、早くいろんなことに取り組んだ。被災から6年、最初は大変だったけれど、町・県・国からの援助により、少しずつ回復したと思います。(39歳以下,地域団体・郵便局関連,沿岸北部)</p> <p>◆高台団地への住宅建設、公営住宅への入居も全戸完了し町内会、自治会等の活動も見え始めている。今後、地区内のコミュニティをどのように進めるかが課題であると思う。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸北部)</p> <p>◆生活苦の話を聞かなくなった。ただ実際、見えない・聞こえない所ではあると思うが、回復はおおよそできているのではないかと感じる。(39歳以下,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆中心市街地ができたこと 災害公営住宅が全部出来たこと 稼働意欲がある方は皆一生懸命に働いている。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆防潮堤工事、復興道路工事等の工事が進み、最近は見えて完成イメージがつかめるようになってきた。校庭の仮設住宅はすべて撤去され、校庭で遊べるようになった。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸南部)</p>
<p>「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由</p>	<p>◆道路工事も進み、庁舎や警察も建設が始まり、新しいステージに進んだ。ただし、岩泉の道路等、手をつけられていないところもある。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸北部)</p> <p>◆復興道路の工事や公営住宅等に入居された方が増え、生活環境の改善は進んだ。ただし、地域の経済力がまだまだ再建途上である。若年層の他地域への流出が続いており、地元では慢性的な人材不足に陥っている。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸北部)</p> <p>◆盛土の所に商店ができた。災害公営住宅が完成した。復興工事完了で工事の人たちが少なくなりダンプカーなどが少なくなった。一部まだ生活の再建をどうするか迷って仮設住宅からでれない人もいる。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆災害公営住宅には高齢の方々が多く、入所時は津波が怖くて上の階を希望したがエレベーターがなく、引きこもり状態になった人が多い。高台移転も商店がなく、移動に不便を感じている。仮設の老朽化が進んでいる。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆高台移転団地の造成工事が昨年9月に完了、11月から移転者に土地の引渡しが始まり、今では8棟が建築され完成間近のものもある。災害公営住宅への入居もあり、仮設住宅はかなり淋しくなっている。(60歳以上,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆現在、住んでいる仮設住宅は全22戸のうち8戸しか住んでいない。住環境としては、自分はまだなので、やや回復したとした。復興住宅が完成し4月より入居が始まった。しかし高台移転は全然進んでいない。(50歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆市街地の盛土地に複合商業施設もオープンし、市街地形成のインフラも整備された。しかし、個人商業主の市街地への商店施設オープンは、個々にさまざまな問題をかかえている。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆巨大ベルトコンベアが解体され、県営・町営アパートが完成した。しかし、高台等移転地の宅地造成の見通しが立たない。長引く仮設住宅で精神的障害に悩まされている方もある。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆やはり、近所に笑顔が増えたことだろう。(40歳代,教育・福祉施設関連,沿岸南部)</p>
<p>「3.どちらとも言えない」 の理由</p>	<p>◆道路や防潮堤などは進んでいるが生活再建は進まない。なにかどんどんこじんまりした生活、活気のない生活になってきている。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸北部)</p> <p>◆高齢者は以前住んでいた地域の人とのつながりがなくなった。車の運転もできなくなってきているので、買い物も近くではできず、生活していくのが大変そうだ。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸南部)</p>
<p>「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」</p>	<p>◆仮設から本設へと徐々にではあるが、移転が進んできている。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連：応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など

教育・福祉施設関連：小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など

産業・経済・雇用関連：漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(2) 地域経済の回復に対する実感

○地域経済の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が62.8%と前回(53.6%)と前回を9.2ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は4.9%と前回(7.2%)を2.3ポイント下回った。

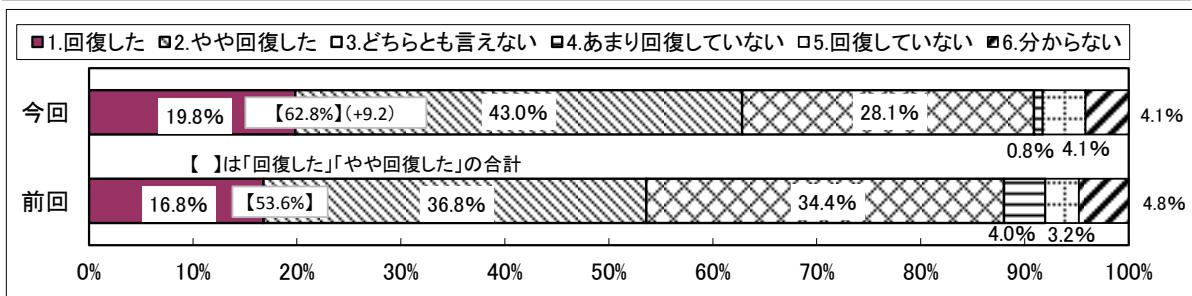
○地域別では、「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で76.2%と前回(65.0%)を11.2ポイント上回り、沿岸南部では55.7%と前回(48.2%)を7.5ポイント上回った。また、沿岸北部と沿岸南部の差は20.5%と、前回の16.8%を3.7ポイント上回った。

○直近6ヶ月の進捗状況を見ると、「進んだ」「やや進んだ」の合計が57.0%と前回(47.2%)を9.8ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は9.1%と前回(8.0%)を1.1ポイント上回った。

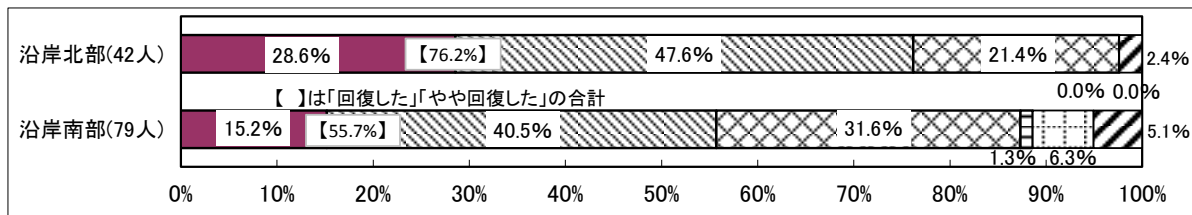
商業施設の完成により、地域経済が徐々に回復しているという声がある一方、人手不足や販路確保など、不安を訴える声もあった。

#### ① 地域経済の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

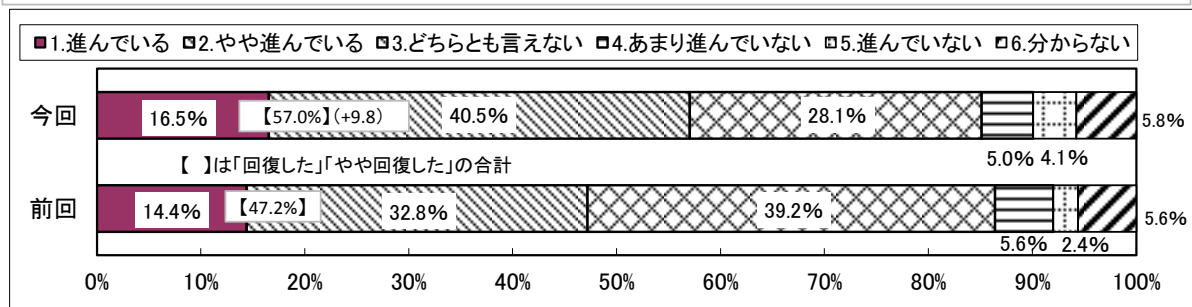


#### 地域別

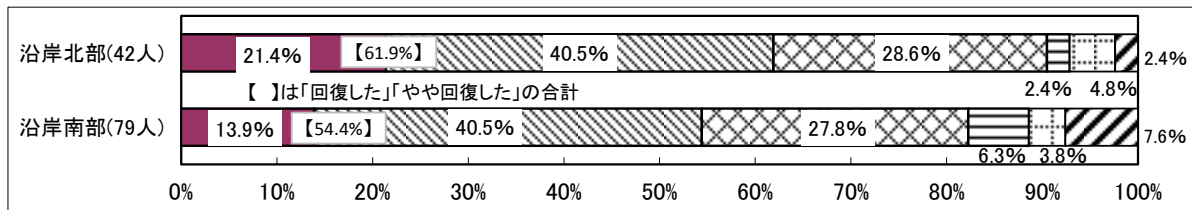


#### ② 直近6ヶ月間(概ね1月から7月まで)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(6ヶ月程度)地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.回復した」 又は 「1.進んだ」 の理由	<p>◆観光客の誘致等も継続して行われている。震災からの回復という点では着実に進んでいる。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸北部)</p> <p>◆交流人口を増やすためにカジキ釣り大会を開催し、インバウンドの増加を考えているが、漁業調整規則法や漁業権により開催できない。世界共通のルールでのカジキ釣りをスポーツと認めていないのは岩手県のみ。(50歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>
「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んだ」 の理由	<p>◆沿岸地域の水産業については、既に再開されてきており、回復は進んできているものと見られる。しかし、通常時における販路の確保等については、課題が残るものとなっていると感じられる。(40歳代,金融関連・郵便局関連,沿岸北部)</p> <p>◆見た目には回復しているのですが、今、家のローンがすごく大変になってきた。(50歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸北部)</p> <p>◆グループ補助金をはじめとした各種支援制度を活用した設備投資に伴う、工場等の稼働へ向けた動きが実感できる。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆水産加工分野でなかなか震災前の水準を回復できていない。コネクタ産業は好調で回復している。「来年から仕事がないので、募集しない」という声も聞かれるようになった事が心配です。(60歳以上,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆BRT大船渡駅周辺に4月末新たな商業施設がオープンし、周辺が賑わってきている。魚市場も新しくなり、水産物関連の大型の冷蔵庫や水産加工工場の新たな大型の社屋もできてきた。(60歳以上,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆陸前高田市のかさ上げ部には大型商業施設アバッセがオープンした。しかし、他の施設はこれからというところ。(50歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆市が続けてきた起業支援や、地域住民の盛り立てていこうとする意識の働きかけもあつてか、経済活動を活性化する意欲を地域全体から感じる。(50歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆廃業などしたところもあると思うが、それは回復のメドが立てれないために決断し、その他の生活を求められたのだと思う。他を見ると、少しは良くなってる風に思う。買い物をしての方が多くなったと思う。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆海況の大変化と地球温暖化の影響で基幹魚種である鮭、スルメイカ漁等が不振。されど漁業の後継者の激減は、磯漁や浅海養殖業者の収入を増やしている。商工業は、昨年11月に「オール商店街」が完成した。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆行政や政府系金融機関による金融支援は手厚いが、地域の将来への不安から再建、新規事業立ち上げを躊躇している方が多い。各業種、従業員確保に苦労している。特に水産加工業で人が集まらない。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆住宅整備が進み新築着工数が減ったことで、その分の落ち込みがある。また中心市街地に大型商業施設が完成したが、周りが整備されていない。中心市街地に店舗を建設できず取り残されていく業者の方々がある。(39歳以下,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆住民にとってなくてはならない業種が廃業し日常生活に不便を来している。また、菓子、薬、履物店などの減少も小売店の仕入に影響している。消滅した事業所の再生は見込めず、各種支援策が活用できない。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆町民バスの本数が減り出かける回数が以前よりも少なくなった。町中に本設の商店も立ち始め明るいニュースはあるが、バスの時間を考えると途中下車して買い物はできない。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>
「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆水産物の水揚げが、思っている以上に少なく大変。今後の見通しはたたない。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆震災以前から人口減少、高齢化問題が取り沙汰され、震災以降は更なる人口流出、当地区生命線の「水産業」での魚介類の不漁などが拍車をかけ、経済の回復に向かうどころか悪化の一途を辿っているように感じる。(40歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連: 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(3) 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

○安全なまちづくりの達成度については、「達成した」「やや達成した」の合計が50.4%と前回(45.9%)を4.5ポイント上回り、「あまり達成していない」「達成していない」の合計は16.8%と前回(15.5%)を1.3ポイント上回った。

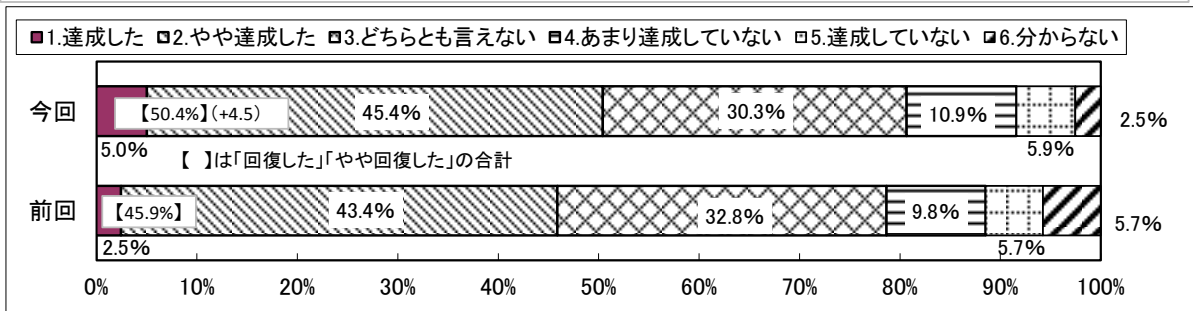
○地域別に見ると、「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で54.7%と前回(60.0%)を5.3ポイント下回り、沿岸南部では48.1%と前回(39.0%)を9.1ポイント上回った。また、沿岸北部と沿岸南部の差は6.6%と、前回の21.0%を14.4ポイント下回った。

○直近6ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が60.5%と前回(55.3%)を5.2ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は8.4%と前回(13.9%)を5.5ポイント下回った。

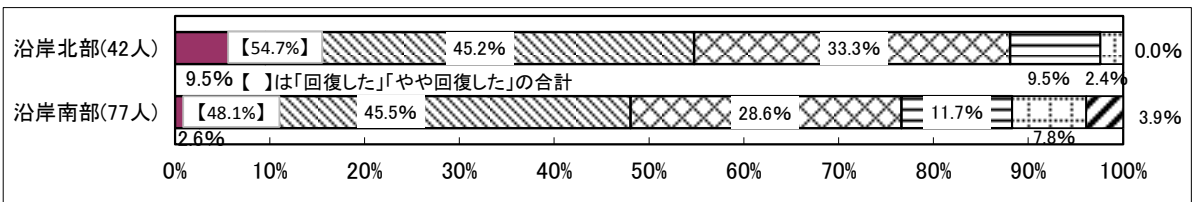
防潮堤、宅地整備、復興道路の整備が進み、目に見える形での復興が着実に進んでいると評価する声がある一方、地域により進捗に差が生じているとの声もあった。また、防災意識の醸成が必要との声もあった。

#### ① 災害に強い安全なまちづくりの達成度(震災以降における全体の達成状況)

【設問】あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは、被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

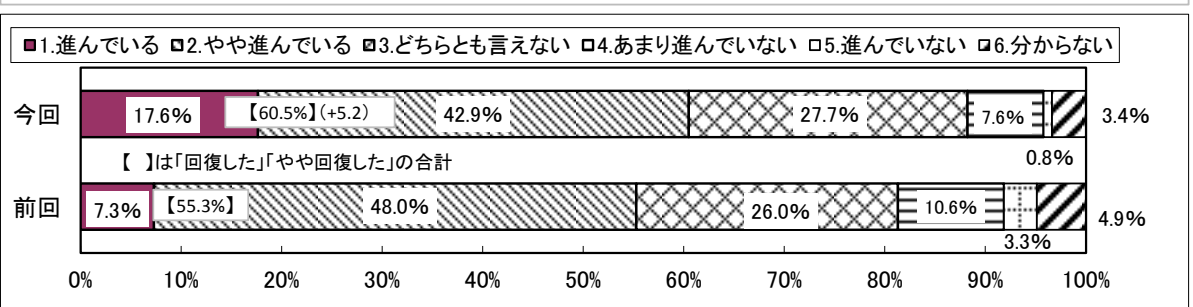


#### 地域別

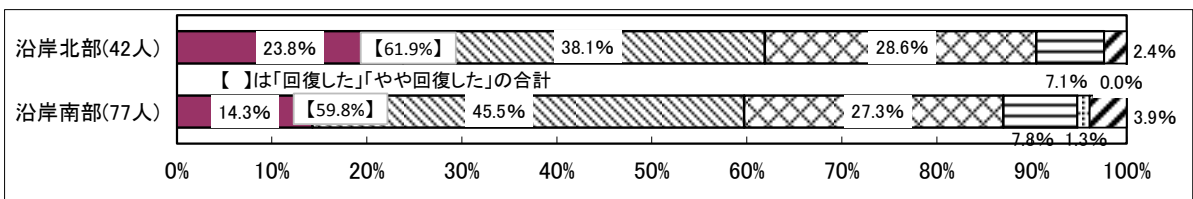


#### ② 直近6ヶ月間(概ね1月から7月まで)の進捗状況

【設問】あなたの周囲をご覧になって、最近の(6ヶ月程度)災害に強い安全なまちづくりの進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 達成度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.達成した」 又は 「1.進んでいる」 の理由	<p>◆防災設備はほぼ完成した。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸北部)</p> <p>◆防災対策については国からの予算が繰入れられ、かなり進んでいると思う。しかし、その反面自然への環境の影響が心配される。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>
「2.やや達成した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由	<p>◆防潮堤の完成で、被災前以上に災害に強い安全なまちづくりは達成できる。住民の災害に対するマインドの構築を行っていく必要がある。(40歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸北部)</p> <p>◆防潮堤が着々と完成に向けて近づいてきている。都市公園の整備や三陸道の工事が進んでいる。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸北部)</p> <p>◆ハード面は進んでいるが、不安材料として震災より6年経過し徐々に津波に対する恐怖や地震への備えについて薄れている。行政もハード面を重視し、子供達への教育(防災)について行っていないように思える。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆海が見えないほどの高さの防潮堤ができた。県道より高い防潮堤なので、県道を走っているときに津波がきたらどれだけの高さの津波なのかわからない。日頃、高台に避難することを心がけるよう啓蒙が重要。(60歳以上,産業・経済・雇用関連,沿岸南部)</p> <p>◆”国道が海より遠ざかったこと”、”防災集団移転促進事業の完了”。道路・トンネル・橋に関して進捗が明らかなので個人的にはワクワクしてきた。大津波はまず来ないという前提で物事を考えてしまっている(40歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆自宅再建する地区で堤防の補修(1m高くする)が始まり、道路整備も進んでいる。役場前の横断歩道や信号の設置について問い合わせたところ9月～12月に工事が始まるとのこと。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p> <p>◆かなりの土砂を積んでかさ上げを行った。しかしあくまでも人工的な土地なので、大きな地震や豪雨などの自然災害に見舞われた時、大丈夫なのかという不安がある。(40歳代,教育・福祉施設関連,沿岸南部)</p> <p>◆岩泉は台風の被害が残っている。(106号沿いもちらほら)堤防工事は進んでいるが、歩道の通行が早くできるようになるとよい。山田線の復旧が少しずつ行われている。三陸道路の完成が楽しみだ。(60歳以上,教育・福祉施設関連,沿岸南部)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆工事の遅れがいつまでたっても目についてしまう。何のための事業なのかわからないようなものばかりだ。地域の人は減るばかりなのに、何をしようとするのだろうか。目的が不明の物ばかりだ。(50歳代,産業・経済・雇用関連,沿岸北部)</p> <p>◆堤防のかさ上げにより昨年の台風10号での堤防からの被害は少なかったが、排水路からの逆流で、安全と思われていた集団移転地の道路が川の様相になった。地域の声に耳を傾ければ、こういうことはなかった。(60歳以上,地域団体・郵便局関連,沿岸北部)</p> <p>◆防潮堤のすぐそばに民家が тұらなっている地区がある。海が見えず怖いと思う。基本は”地震が起きたら、津波を想定してすぐ高台へ”だが、震災から年が過ぎて、危機意識が薄らいでしまっているのでは。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸北部)</p> <p>◆過去には自然とともに共存する政策が大半であったが、今は災害が起こるたびにそれを封じ込めようとする対策が取られている旨の講演があったがその通りだと思う。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸北部)</p> <p>◆町によって差ができてきていると思う。早く回復した町が、じっくり時間をかけて回復しようとしている町と比べると、どうしても弱いような気がしてならない。(50歳代,教育・福祉施設関連,沿岸南部)</p>
「4.あまり達成していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆震災前は数十年要して徐々に整備されていた防潮堤であるが、それを撤去して新しい設計で建てられている。場所によっては、元のままの方が良かったのでは、と思える部分もある。(50歳代,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>
「5.達成していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由	<p>◆迂回路がなく、常に渋滞する。復興道路の早期完成が安全なまちづくりに必要だ。工事は進んでいるがまだ完成していない。(39歳以下,地域団体・郵便局関連,沿岸南部)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連: 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など

教育・福祉施設関連 : 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など

産業・経済・雇用関連: 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

いわて復興ウォッチャー・動向判断指数(DI)の推移

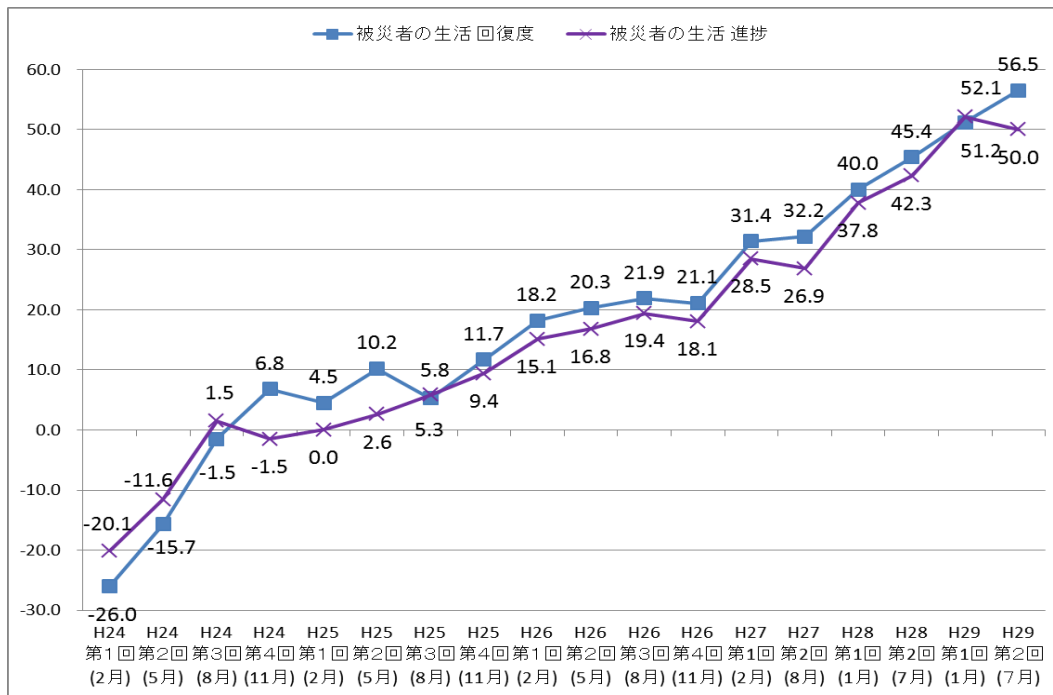
＜動向判断指数(DI)＞

掲載する折れ線グラフは、各回の動向判断指数(DI)について時系列にその推移を表わしたものである。動向判断指数(DI)は、「回復した」の回答数がA、「やや回復した」の回答数がB、以下「どちらともいえない」がC、「あまり回復していない」がD、「回復していない」がEのとき、次の式で算出する。

$$\text{動向判断指数(DI)} = \{ (A \times 2 + B) - (D + E \times 2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

(注) 上記「回復した」は、設問によって「達成した」「進んでいる」等となる(他の選択肢についても同様)。

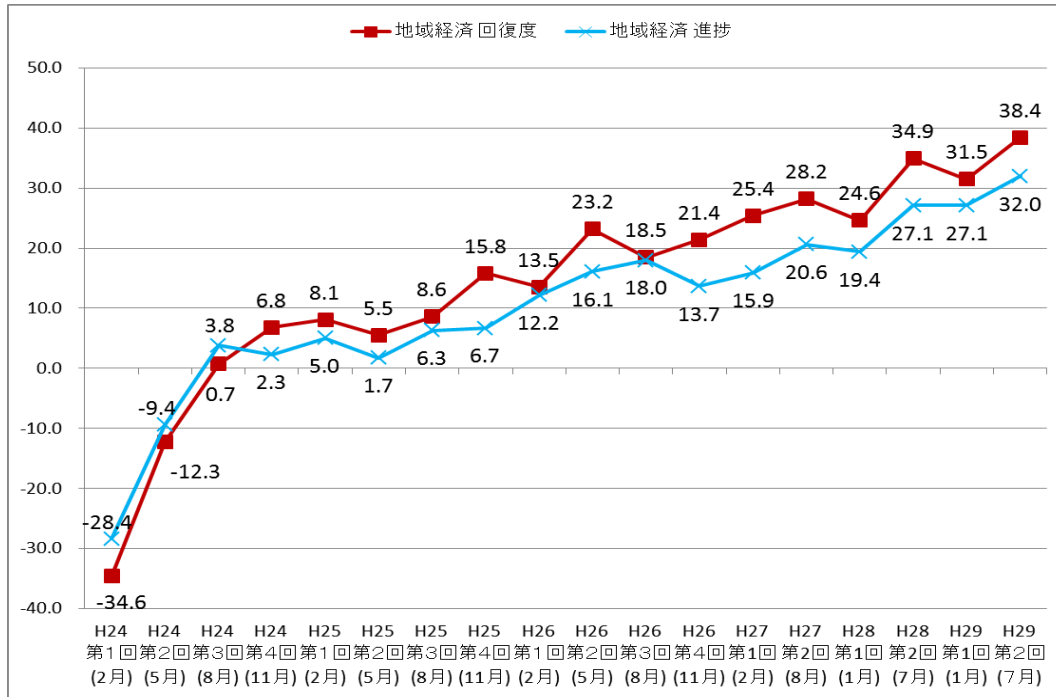
【被災者の生活】回復度と前回調査(※)からの進捗状況に対する実感



※H27第1回調査までは直近3ヶ月間、H27第2回調査以降は直近6ヶ月(今回であれば、概ねH29年1月～H29年7月)を指す。

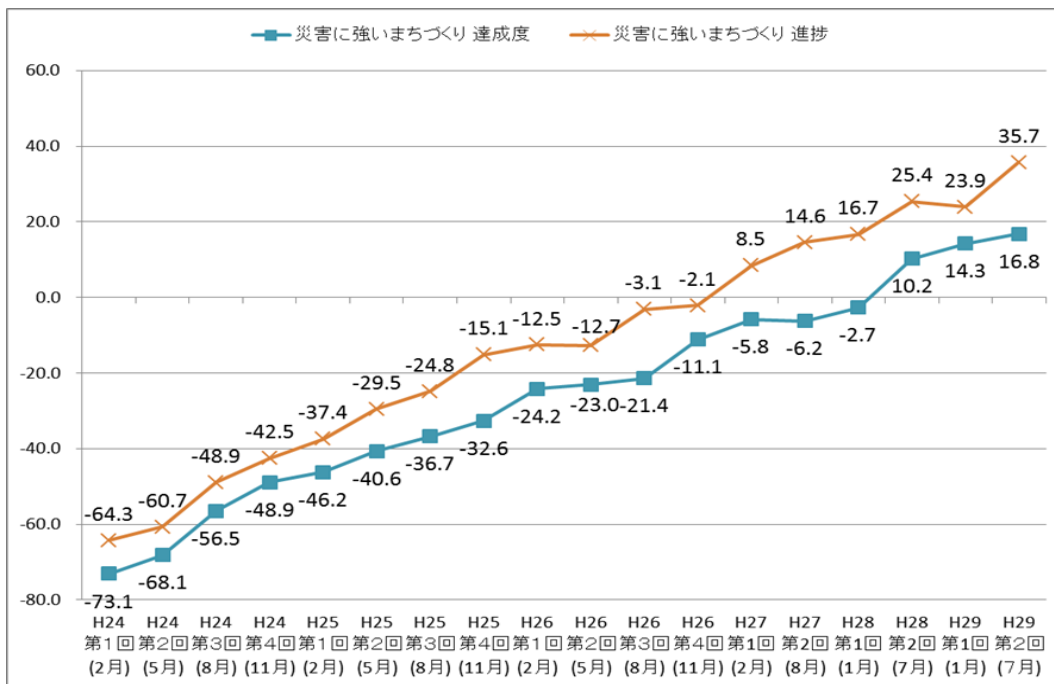


【地域経済】回復度と前回調査(※)からの進捗状況に対する実感



※H27第1回調査までは直近3ヶ月間、H27第2回調査以降は直近6ヶ月(今回であれば、概ねH29年1月～H29年7月)を指す。

【災害に強い安全なまちづくり】達成度と前回調査(※)からの進捗状況に対する実感



※H27第1回調査までは直近3ヶ月間、H27第2回調査以降は直近6ヶ月(今回であれば、概ねH29年1月～H29年7月)を指す。

平成29年【第2回】  
「いわて復興ウォッチャー調査」  
結果報告

発行

平成29年8月28日

岩手県

復興局 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6945

ホームページ：岩手県震災復興・復興の動き

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/>